宮崎学園新聞
2025年
四月第一号
宮崎学園
新聞部発行
掲示許可

合唱部 万博の開幕彩る

大阪・関西万博が四月十三日、大阪市此花区の夢洲で開幕した。オープニングを飾ったのは「一万人の第九 EXPO2025」。世界的に著名な指揮者である佐渡裕氏の指揮の下、一万人の合唱団とオーケストラがベートーヴェン交響曲第9番を演奏した。本校合唱部も参加し、記念すべきイベントの開幕に花を添えた。

万博開幕前日の十二日早朝、ち、空路で大阪に向かった。イベントへの参加を希望した　到着後、道頓堀まで移動、その合唱部の部員たちが宮崎を発　の後グループに分かれ、食べ

▲本番終了後、モニュメントと大屋根リングをバックに記念撮影。

歩きやショッピングなどで大阪観光を楽しんだ。夕方からは「第九」を歌いに集まった全国各地の高校の合唱部の部員総勢二百名超と合同練習を行った。普段はなかなか交流することのできない遠方の高校の合唱部員とともに歌い、本番に向けて気持ちを高めた部員たちであった。

本番当日、朝早くにホテルを出発して会場に到着。そのままアルト・男声パートのメンバーは万博のシンボルである大屋根リングに移動、ソプラノパートはウォータープラザに移動して配置についた。他の参加者と本番までの数時間を談笑して過ごすうちに緊張もほぐれたのか、本番直前のリハーサルでは多くの部員が笑顔で歌うことができていた。そしてついに迎えた本番、佐渡裕氏の指揮の下、オーケストラの演奏とともに「一万人の第九」が始まった。一万人の声量に圧倒されながらも、部員一同が一生懸命に声を響かせた。曲も終盤に差し掛かった頃、ちょっとした奇跡が起こる。それまで曇っていた空に太陽の光が差し込み、感動のフィナーレを迎えたのだ。

今回このイベントを経験して、部長の上村心さんは、「みんなで一つになって本番を迎えたとき、改めて合唱の素晴らしさを感じた。今回の経験を今後の活動に活かしていきたい。」と語った。大阪・関西万博は十月十三日まで開催される。世界各国が参加する文化と技術の祭典に足を運んでみてはどうだろうか。また、合唱部は現在、中高合わせて二十四名で活動しており、全てのパートで新入部員を募集している。見学は音楽棟二階音楽室まで。（飯干）

▲本番当日の朝、大屋根リングに集まる一万人の合唱団。

今週の部活動イベント　吹奏楽部

四月十九日土曜日、大坪記念ホールにて十四時から、本校高吹奏楽部が日本・台湾交流会～宮崎で集う吹奏楽の交流演奏会～に出演する。

また、同部は翌日のみやざき国際ストリート音楽祭2025にも十三時から出演予定。晴天時は県庁防災庁舎前広場、雨天時は大坪記念ホールで、吹奏楽の音色を響かせる。どちらも無料のイベントなので、ぜひ足をはこんでみてはどうだろうか。（中西・伊東）

▲吹奏楽部公式Instagram

▲ストリート音楽祭2025HP